

第7便



一緒に話そう!

路線バスや生活交通のこと

私たちの暮らしを支える路線バスなどの生活交通の現状について、シリーズでお伝えしています。連載7回目の今回は、「バス停留所待合室に関する補助」と「一人ひとりができること」についてお伝えします。



近所のバス停留所の待合室がきれいに建て替えられたの。窓が大きくてバスが来るのも見やすいし、雨や風とかが当たらずに快適なの!



ノtteちゃんはバス通学だから、毎日助かるわね。建て替える時に区長さんが「みんなが安心してバスをもっと利用できるようにしたいんだ」ってお話されていたわ。その気持ちを応援するために、市もかかったお金の半分の補助(※1)したの。



そういう補助もあるんだね。



待合室を建てたり直したりすることで、バスを快適に利用できて、乗る人が増えてくれることを期待して、地区などの団体に補助しているの。



補助を受けて設置されたバス待合室



うちのおばあちゃんは、ボクたちと離れて暮らしているんだけど、毎週、通院や買い物にバスを使ってるよ。おでかけバス(昨年10月号を参照)はお得だし、市街地巡回線がお気に入りなんだって。



それって糸魚川駅日本海口から出発して、ぐるっと回って日本海口に着くバスのことだよ。1回



につき大人100円、子ども50円で乗れるんだよね。バスも小さくてラッピングがかわいい「いくマイカー」だし、私も大好き!



スーパーや商店街、糸魚川総合病院や市役所などの場所を円を描くようにつないで走っているバスだから、通院にも買い物にも便利でわかりやすいって人気なの。



そうそう、街めぐりバス(※2)が3月31日で終了して、4月1日から糸魚川駅アルプス口とフォッサマグナミュージアムの間を往復する美山公園・博物館線の運行を始めるよ。アルプス口で市街地巡回線に乗り換えれば、美山公園や原山団地等と市街地を8の字を書くように行き来できるんだ。市街地巡回線と美山公園・博物館線は、元日以外の毎日運行というのも特徴なんだ。



新幹線に乗って来てくれる観光客からも、バスに乗って糸魚川の素敵な所をたくさん訪れてほしいな。ミュージアムに、温泉に、海水浴に、スキーに、おいしい食べ物屋さんでしょ…。観光客の皆さんのためにも、ここに住むボクらのためにも、バスはずっとあってほしい。



そうね。バスに乗って人がたくさん移動することで街がにぎやかになるにはどうしたらよいか、なるべく赤字を増やさないようにするにはどうしたらよいか、いろんなことをみんなで知恵を出し合って工夫していきましょう。そのためには、私たちがこれからも情報発信しないとね。



街めぐりバスを終了して、美山公園・博物館線を作ったのも、そういう工夫の一つなんだ。



私たちが何かしたい。でも、子どもだから、待合室をきれいに保つとか、マナーを守ってみんなが気持ちよくバスに乗れるようにするとかでもいいの?



それ、とっても素敵っ!!みんなが自分のできる工夫を考えて実行すれば、きっと素敵なバスの街になるわよ。



ノtteちゃん、ボクもできることで協力するよ。



路線バスは、とても大切な生活の足。なくしたくない気持ちの強さは、もっともっと利用する形でみんなで伝えていこうよ!

(※1) バス停留所待合室や駅駐輪場の建設や修繕にかかる費用の1/2を助成(上限50万円)するものです。詳しくは、都市整備課にお問い合わせください。

(※2) 糸魚川駅日本海口を発着点として、フォッサマグナミュージアム、翡翠園、谷村美術館等を巡回する土・日・祝日限定のバスです。

問合先 都市整備課 計画係 ☎552-1511